

ポータル
サイト

被災地に、あったか肌着を贈呈（おかやまコープ）

おかやまコープでは、12年12月3日～14日、「あったか肌着プレゼント募金」に宅配の募金企画と店舗で取り組みました。おかやまコープが「AMDA健康サポートセンター」（岩手県大槌町）に現在望まれている支援について問い合わせた際、「あったか肌着」提供の依頼があり、今回の取り組みとなりました。約217万円の募金が寄せられ、保温性の高い肌着「ミズノ プレスサーモ」（ミズノ）上下約600着が贈られました。



肌着を受け取った大槌町の方々。

ポータル
サイト

運動不足解消に「玄米ダンベル」を（コープこうべ）

コープこうべの白川台コープ委員会では、「玄米ダンベル」2個セットを40袋作り、みやぎ生協に贈りました。これは、冬の運動不足解消やコミュニティづくりのために仮設住宅の集会所で役立ててもらえないかと、みやぎ生協ボランティアセンターに試作品を送ったところ、「ぜひ送ってください」との返事があり、委員会のメンバーが手作りました。



贈った「玄米ダンベル」。

全国生協からの支援金を使用し、食育活動！

子どもたちに楽しくご飯を食べてほしい（コープふくしま）

ピックアップ！生協の仲間たち



施設・法人アドバイザーの穂積典子さん。

コープふくしま 共同購入拡大グループ 郡山支部 施設・法人アドバイザーの穂積典子さんは、食育インストラクター[※]の資格を活用し、福島市、郡山市の保育園、児童施設で、仲間づくり活動と共に食育活動を行なっています。「震災直後、全国の生協さんから送っていただいた支援物資を各施設に持っていくと大変喜ばれ

ました。支援物資を提供する中、今後私自身はどう応援できるのか考えたときに食育活動をやりたと思ったのです」

穂積さんは、現在週1回、それぞれの野菜の効能などを分かりやすく説明したり、伝統食作りを教えたりしています。「活動で使う食材は、全国の生協さんからの支援金で提供させていただいているんですよ」とほほえむ穂積さん。「放射性物質の汚染が心配されている中、家庭ではなかなか『食育』という視点を持つことが難しいのですが、少しでも子どもたちと保護者の方に、食べることに興味を持ってもらいたくて」

さらに、穂積さんは食育イベントにあわせて、生協の食材を提供したり、コープふくしまが取り組む除染の話や内部被

ばく、外部被ばく測定の話なども行っています。「コープふくしまがサポートできることはたくさんあるので、多くの方に生協の取り組みを知っていただく機会にしたいです」。「食べることは命につながる」という思いを強く持ち、「食べ物との上手な付き合い方」を伝える穂積さん。今日も、子どもたちの笑顔のため出掛けていきます！



1月24日に開催された食育イベントの風景。

※ NPO 日本食育インストラクター協会が認定する資格。生涯に渡り食育について指導できる人材を、食育インストラクターとして認定。